

## 会社の概要

創 立	1907(明治40)年11月1日
設 立	1950(昭和25)年12月11日
資 本 金	198億3,782万2,589円
従業員数(就業人員数)	単体:1,989名 連結:5,271名

## 取締役及び監査役

代表取締役社長	松尾敏夫
代表取締役副社長	菊地宏樹
取締役専務執行役員	井上茂樹
取締役常務執行役員	柴田基行
取締役執行役員	中西英雄
取締役(社外)	中西義之
取締役(社外)	三井久夫
取締役(社外)	河村潤子
取締役(社外)	栗木康幸
取締役(社外)	水本伸子
常勤監査役	三戸慎吾
常勤監査役	清水博之
監査役(社外)	山口更織
監査役(社外)	海野晋哉

(注)当社は、取締役 中西義之氏、三井久夫氏、河村潤子氏、栗木康幸氏及び水本伸子氏並びに監査役 山口更織氏及び海野晋哉氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

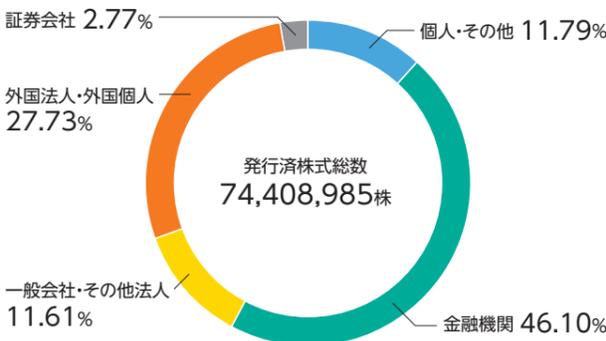
## 執行役員(取締役兼務者を除く)

専務執行役員	馬本誠司
常務執行役員	布下昌司
常務執行役員	新本武司
執行役員	青山雅之
執行役員	澤井美喜
執行役員	武谷健吾

## 株式の状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式総数	74,408,985株
株主数	20,674名

## 所有者別分布状況



## 株主メモ

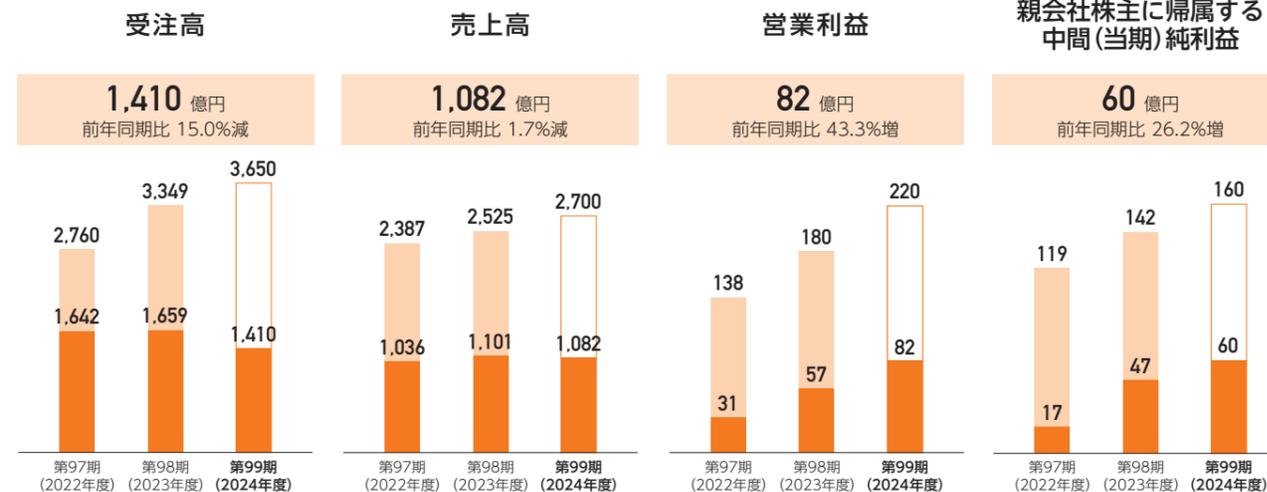
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-0063) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 電子公告 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
公告掲載方法	
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場

# BUSINESS REPORT

## 第99期 中間報告書

2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日

## 連結業績ハイライト (単位: 億円)



## 決算のポイント

### 当中間期の業績

当社グループにおける当中間期の業績につきましては、受注高は、1,410億16百万円(前年同期比15.0%減)、売上高は1,082億77百万円(前年同期比1.7%減)、営業利益は82億89百万円(前年同期比43.3%増)、経常利益は86億2百万円(前年同期比26.8%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は60億9百万円(前年同期比26.2%増)となりました。

### 通期業績見通し

通期の業績見通しにつきましては、産業機械事業において、期初の想定より成形機の市況が回復しているほか、防衛関連機器が増加する見込みであることに加え、素形材・エンジニアリング事業において、販売価格の改善などの効果が見込まれることから、受注高3,650億円、売上高2,700億円、営業利益220億円、経常利益225億円、親会社株主に帰属する当期純利益160億円を予想しております。

### 当中間期の配当

当中間期の配当は、通期業績見通しを勘案し、期初予想の1株当たり37円から1円引き上げ、1株当たり38円とさせていただきます。なお、期末配当予想についても、期初予想の1株当たり37円から1円引き上げ、1株当たり38円とし、年間配当は1株当たり76円を予定しております。

### 配当金領収証が同封されている株主様へ

現在、「配当金領収証」を持参し、ゆうちょ銀行または郵便局にて配当金をお受け取りになられている株主様におかれましては、口座振込での配当金のお受け取りをお勧めします。口座振込をご指定いただけますと、配当金の支払開始日にご指定の銀行等の口座に配当金をお振込みしますので、迅速・安全・確実に配当金をお受け取りいただけます。

配当金のお受け取り方法の変更は、お取引口座のある証券会社へお問い合わせください。

### 株主総会資料の書面交付請求について

会社法の改正により、株主総会資料の電子提供制度が開始され、株主総会資料(招集のご通知)が原則ウェブサイトでの提供となりました。書面交付請求をされていない株主様で、従前通り株主総会資料の郵送を希望される株主様は、次回の議決権基準日(次回の定時株主総会の議決権基準日は2025年3月31日)までにお早めに当社株主名簿管理人である三井住友信託銀行またはお取引の証券会社で「書面交付請求」のお手続きを行っていただきますようお願い申し上げます。

三井住友信託銀行 証券代行部 ☎0120-533-600

受付時間 9:00~17:00(土・日・休日・年末年始を除く)

よくあるご質問 <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

「ビジネスレポート」として当社の第99期中間報告書（2024年4月1日～2024年9月30日）をお届けいたします。株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年12月

代表取締役社長 松尾 敏夫



各事業の概況

産業機械事業

素形材・エンジニアリング事業

売上高構成比 **79.6%**

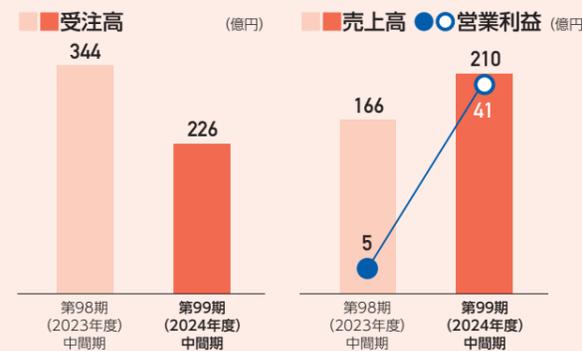
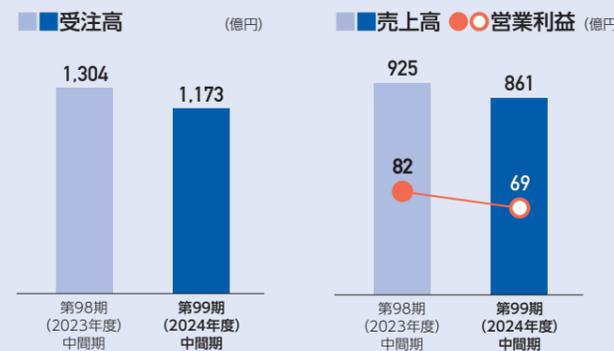
売上高構成比 **19.5%**

● 業績のポイント

受注高は、1,173億50百万円（前年同期比10.1%減）、売上高は861億97百万円（前年同期比6.8%減）、営業利益は69億6百万円（前年同期比15.9%減）となりました。防衛関連機器は伸ばしましたが、樹脂製造・加工機械は受注、売上ともにEV関連投資が停滞した影響から減少しました。

● 業績のポイント

受注高は、226億22百万円（前年同期比34.4%減）、売上高は210億98百万円（前年同期比26.9%増）、営業利益は41億15百万円（前年同期比644.9%増）となりました。受注は前年同期に原子力製品が高水準であったことから減少しましたが、高効率火力発電向けを中心に底堅い需要が続きました。特に営業利益は販売価格の改善効果と売上高が増加したことに加え、操業の増加もあり大きく改善しました。



配当予想を上方修正いたしました

当社の利益配分につきましては、安定的かつ継続的な配当の実施とその向上を基本姿勢としております。また、中期経営計画「JGP2028」期間中は、連結配当性向35%以上を目標といたうえ、DOE（連結株主資本配当率）2.5%を下限に配当を実施する方針です。

期初予想では1株当たり年間配当74円（中間配当37円、期末配当37円）を予定しておりましたが、2024年11月8日に通期業績見通しを修正したことに伴い、上記の配当方針に基づき配当予想を上方修正し、期初予想から2円増の1株当たり年間配当76円（中間配当38円、期末配当38円）としました。

当社は、「JGP2028」において、売上高3,800億円規模の企業グループへの成長を目標としており、今後も上記の配当方針に基づき、株主の皆様に対して成長に応じた利益還元を継続して行ってまいります。

新たな成長へ向けた設備投資

当社広島製作所では、産業機械セグメント製品の需要拡大に対して、当社の強みである、製品の内製化率を維持、向上しつつ生産能力を拡大させるため、工場や生産設備の大規模な設備投資を実施しており、2023年10月に竣工した第9組立工場に加え、2026年度下期までに3つの工場の竣工を予定しています。これらの工場は、大型クレーンや大型加工機を設置することでこれまでよりも大型の製品に対応可能であるとともに、製品の保管能力も向上しており、サービス部品のより円滑な供給を可能とします。

「JGP2028」の基本方針の一つである「現有事業の持続的価値向上」の実現に向けて、広島製作所での大規模な設備投資の実施により産業機械事業における内製能力・生産能力の向上とサービス事業の拡大を推進していきます。

広島製作所における設備投資の流れ



食品機械分野での取り組み

近年、世界的な人口増加や人々の食生活の欧米化によって、タンパク質の需要が高まっており、近い将来に需給バランスが崩れ、「プロテインクライシス」に陥ることが懸念されています。その解決策として、動物性タンパク質（肉類）を代替する、大豆、エンドウ豆、小麦を原料とした植物性タンパク質（プラントベースフードである代替肉）の需要が高まっています。

プラントベースフードである代替肉の製造には、混練、加熱、成形あるいは膨化といった製造工程があり、それらを1台の機械で賄えることから、従来プラスチック加工用として利用されていた二軸混練押出機が改良されて利用されるようになりました。

当社は、プラスチック加工用機械としての二軸混練押出機における技術的知見を活かし、より高品質な代替肉の製造を可能とする技術の研究開発を進めると同時に、最近では食品分野の専門展示会へも出展するなど、食品機械分野のニーズに応えるための取り組みを推進しています。

食品機械分野でも、当社のコアコンピタンスである「溶かす」「混ぜる」「固める」技術と機械要素技術・精密制御技術を活かしてお客様のニーズに応えることを通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

